

神奈川県内大学図書館
相互協力協議会

会報

平成18(2006)年10月31日 第36号

編集・発行 神奈川県内大学図書館
相互協力協議会

平成18年度事務局 〒252-8520

藤沢市遠藤5322

慶應義塾大学湘南藤沢メディアセンター

電話 0466(49)3430

e-mail : kulc-office@kulc.sakura.ne.jp

印刷 株式会社 ワキプリントピア

電話 0466(87)5811

平成18年度総会報告

平成18年度総会は、5月22日(月)午後1時30分から慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス (アルファ)館4階大会議室において開催されました。

平成17年度報告、平成18年度計画、メーリングリストの外部サービス利用などの協議の後、講演会を設定し、慶應義塾大学湘南藤沢メディアセンター所長(慶應義塾大学政策・メディア研究科教授)の金子郁容氏より「図書館の街を巡って」というテーマで、バーチャル空間を利用して書物を書物と読者、読者どうしといったさまざまな関係性のメディアとしてとらえる取り組みについてお話しいただきました。講演の概要と議事報告を以下に掲載いたします。

また、協議と講演の間の休憩時間を使って、慶應義塾大学湘南藤沢メディアセンターの見学会が行われました。

講演会：図書館プロジェクト

慶應義塾大学湘南藤沢メディアセンター所長

(慶應義塾大学政策・メディア研究科教授)

金子郁容

人類の知的・文化的活動の資産は世界中に分散的に存在しています。ネットワーク上にオープンな「知の編集空間」を構築して、それらを結びつけ、関連づけることを可能にするのがこのプロジェクトです。ICT(情報コミュニケーション技術)の多様な展開に向けて、新規性のあるデータモデルや検索技術を開発し、実社会と連動した、また、文化や言語の境界を超えて人や知識をつなげるユニバーサル・コミュニケー

ションを促進するプラットフォームを提供することを目的としています。

このプロジェクトでは、有史以来のコンテンツを表現しつづけてきた「書物」をあらゆる情報の基本単位ととらえ、それを格納する「本棚」が「道」「界限」「広場」などの中に配置された三次元の「図書館の街」として「知の編集空間」を表現します。(これは、プロジェクト・コンセ

プターの松岡正剛氏が長年あたためてきた構想を基にしたものです。)この「街」には、書物があふれ、人が住み、利用者が訪れ、街を散歩し、特定の知識を探し、連想し、インスピレーションを働かせる。そして、他の人とのインタラクションによる創発が生まれ、ひいては、共同知や文化が創造されます。

図書街は、いわゆる電子図書館ではありません。既存の物理的な図書館の本の並びなどをバーチャルに、そのままネットワーク上に構築するのではなく、書物のもつ多義的な関係性を自由に編集して、文脈をもった関係性として、ネットワーク上に配置した「街」を作ることです。ITの世界では「ユビキタス」という表現がよく使われるようになりました。それからすると、「ユビキタスの海」に社会的文脈を作るのが図書街プロジェクトです。実際に書物を配置する必要がないのですから、いろいろな関係性を表現できます。つながりに意味づけがあることが大事です。たとえば、ひとりの人が本を読んでいるときに、いろいろと連想したことを「メモ」書きし、それを次の人が見ることができます。いろいろな人の「メモ」を編集して、ある種の「共同知」を作り出すことも可能です。

図書街の中を、あるテーマでブラウズする道筋を示した、自学自習コースウェアを提示することもできます。こういう本を、こういう順番で読んで欲しい、というシーケンスを、専門家や、親や、学校の先生や、人生の先輩が作って、他の人に提示するのです。「私が新入社員に勧める百冊」を、ただのリストではなく、なにからどう読むかという情報をつけて示すこともできます。

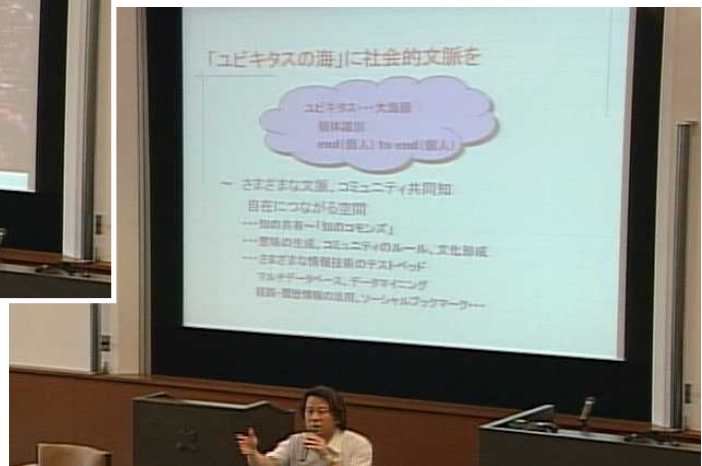
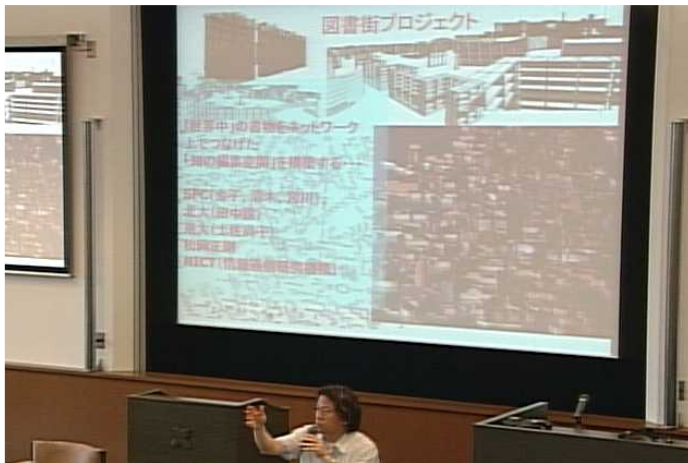
たとえば、松岡正剛が選んだ「フラジャイルな情緒」というコースウェアは、図書街のふたつのエリアを行き来する『長靴をはいた猫』(シャルル・ペロー) 『青い鳥』(メーテルリ

ンク) 『銀の匙』(中勘助) 『レ・ミゼラブル』(ヴィクトル・ユゴー) 『銀河鉄道の夜』(宮沢賢治) 『たけくらべ』(樋口一葉) 『失われた時を求めて』(マルセル・プルースト) 『山羊の歌』(中原中也) 『死者の書』(折口信夫)と続きます。

さまざまな新しい技術や方法も開発されます。隣り合う「本棚」同士は関連した意味と暗示を持っている。「広場」は、その周りの「本棚」が一定の関連があるという文脈と寓意を表している。「図書の街」は、文脈とトポス(場所の情報)を表すデータ構造とそれに対応する演算セットをともなった、汎用性をもった新しいデータモデルを提案するものです。

「街」を訪れる利用者もひとつのオブジェクトとして、経路(=ナビゲーション)情報を含んだ動的な行動履歴が記録され、そこから、利用者の「意図」が推測できるでしょう。構造、文脈、意図などを活用して、ナラティブ連想検索やインスピレーション検索など、新しい情報想起の方法が開発されます。さらに、「日本の方法」、たとえば、俳句や和歌のリズムや日本語表現がもつ多義性などに基づく情報獲得の方法を開発するカルチュラル・コンピューティングの研究が進められます。これらの技術が多文化スキームに広げられ、ユニバーサル・コミュニケーションへの展開が図られます。

このプロジェクトは、技術と文化、方法と感動の交差点を作り出すことで、ICT技術のもつ潜在的な力を提示し、広い分野の関心を喚起することになるでしょう。



平成 18 年度総会議事報告

当日の出席は 26 校 28 名、委任状提出 16 校で、会則第 9 条第 3 項に則り総会は成立しました。議事は次のとおり進められました。

1 平成 17 年度事業報告

平成 17 年度の総会、実務担当者会、会報発行、共通閲覧証利用統計調査等が例年どおり行われたほか、実務担当者会のグループ討議に向けて「大学図書館における個人情報の取扱いについて」アンケート調査が実施されたこと、共通閲覧証の書式を改訂、平成 18 年度より使用を開始したことが報告され承認されました。

2 平成 17 年度決算報告（次頁参照） 承認

3 平成 17 年度会計監査報告 承認

4 平成 18・19 年度役員館の選出
（平成 18 年度加盟館名簿参照） 承認

5 平成 18 年度事業計画案

諸会議、会報発行等、例年にならって活動を行うことが承認されました。

6 平成 18 年度予算案（次頁参照）

繰越金が多いため、今後に向けて事業計画案を策定することとして承認されました。

7 メーリングリストの運用について

（次頁【事務局報告】参照） 承認

8 現物貸借で借り受けた図書の複製に関するガイドラインについて

国公立大学図書館協力委員会ほかによる「図書館間協力における現物貸借で借り受けた図書の複製に関するガイドライン」（2006.1.1）が発表されたことで、一定の条件下において借受館での複写ができることになりました。KULC 現物貸借実施要領（平成 4 年 5 月施行）では第 4 条(5)において「借用した資料を、複写することはできない」とありますが、当面はガイドラインを優先して運用し、複写を禁止する場合はそれを明示して対応することが承認されました。

9 その他

・加盟館機関名変更報告

（産能大学図書館 産業能率大学図書館）

・会費納入依頼

（次頁【事務局報告】参照）

・保管期間を過ぎた資料の廃棄報告

【平成 17 年度決算】

< 収入の部 >

1 前年度繰越金	640,496 円
2 会費	220,000 円
3 その他（銀行利息）	6 円
合計	860,502 円

< 支出の部 >

1 会議費	44,889 円
2 事務費	44,788 円
3 印刷・製本費	92,820 円
4 研究活動費	30,000 円
5 予備費	36,120 円
6 次年度繰越金	611,885 円
合計	860,502 円

【平成 18 年度予算】

< 収入の部 >

1 前年度繰越金	611,885 円
2 会費	220,000 円
合計	831,885 円

< 支出の部 >

1 会議費	70,000 円
2 事務費	70,000 円
3 印刷・製本費	90,000 円
4 研究活動費	60,000 円
5 予備費	541,885 円
合計	831,885 円

以上

【事務局報告】

調査の実施

- 加盟館名簿記載事項確認調査
- 平成 17 年度共通閲覧証による相互利用統計調査

上記 2 件の調査について 6 月 15 日に加盟館に依頼，回答をもとに「神奈川県内大学図書館相互協力協議会加盟館名簿（平成 18 年度）」および「同 共通閲覧証利用統計（平成 17 年度）」を作成，7 月 10 日に送付しました。今号付録の名簿はその後の修正を反映した最新版になっています。

平成 18 年度会費徴収報告

会費納入について 5 月 22 日の総会にて加盟館に依頼し，7 月 31 日に全ての館からの入金を確認いたしました。

メーリングリストの作成

総会にてさくらインターネット株式会社の「さくらのメールボックス」サービスの利用を決定，加盟館の登録アドレス調査後，7 月 10 日より運用を開始しています。

< メーリングリストアドレス >

一般連絡用：kulc@kulc.sakura.ne.jp

連絡館用：kulc-r@kulc.sakura.ne.jp

注）各メーリングリストへは，予め登録されたメールアドレスからのみ送信ができます。

名簿記載事項，メーリングリスト登録アドレスの変更は事務局までご連絡ください。

平成 18 年度実務担当者会開催予告

日時：平成 18 年 11 月 21 日（火）13:30～

場所：慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス

（アルファ）館 会議室

テーマ：地域開放・地域連携

基調講演：東京農工大学小金井図書館

矢崎省三氏

- ・ 昨年に引き続きグループディスカッションの時間を設ける予定です。
- ・ 別途メーリングリストにて，参加者を募集します。